

公共下水道事業会計〔上下水道事務所 上下水道課 所管〕

1 概況

(1) 総括事項

ア 業務状況

令和5年度末の業務状況は、水洗便所設置済戸数が2万9,911戸（前年度比397戸増）、水洗便所設置済人口が6万9,597人（同266人増）、行政区域内人口7万627人に対する処理区域内人口は7万83人で、普及率は99.2%となった。

年間総汚水処理水量は1,193万1,990^m（同1万9,570^m増）、晴天時一日平均汚水処理水量は3万1,868^m（同205^m減）で、晴天時一日最大汚水処理水量は5万4,730^mとなった。

使用料収入の対象となる年間総有収水量は1,031万8,931^m（同3万4,061^m増）、一日平均有収水量は2万8,194^m（同16^m増）で、年間総汚水処理水量に占める年間総有収水量の割合を表す有収率は86.5%となった。

イ 財政収支状況

収益的収支のうち、総事業収益は22億239万6,438円（税込み額23億3,498万5,993円）、総事業費用は19億1,786万8,400円（同20億4,113万4,481円）で、収支差引額2億8,452万8,038円の当年度純利益を計上した。

資本的収支（税込み額）は、総収入額が9億1,515万597円、総支出額が16億7,087万7,631円で、支出額に対する収入不足額7億5,572万7,034円は、積立金2億310万4,331円、過年度分損益勘定留保資金5億4,369万9,108円及び当年度分消費税資本的収支調整額892万3,595円で補てんした。

経営指標では、総収支比率が114.8%（前年度116.1%）、経常収支比率が114.8%（同116.0%）で、いずれも前年度より減少したが、営業収支比率は70.8%（同70.2%）で、前年度より増加した。

ウ 建設改良事業

建設改良事業のうち、管渠整備工事については、整備申請に基づく公共汚水桝の設置や污水管布設工事を実施した。また、ストックマネジメント計画に基づき浄化センター改築更新工事を実施した。なお、下水道施設の管布設工事の一部については、令和6年度へ繰越した。

エ その他

下水道施設の適切な維持管理及び更新を図るため、令和5年度から10年間の新たな施設包括管理委託業務を開始した。

下水道施設における耐震状況を把握し、適切な耐震化を図るため、総合地震対策計画耐震診断業務を実施した。

また、平成30年度に策定した下水道事業経営戦略について、計画期間の中間年次にあたるため、改定業務を実施した。

(2) 経営指標に関する事項

令和5年度決算における経営指標は、経営の健全性を示す経常収支比率について、浄化センターの修繕費等の増加により、前年度比1.2ポイント減の114.8%となったものの、健全経営の水準とされる100%は上回っている。また、使用料水準の妥当性を示す経費回収率は、前年度比2.1ポイント増の124.7%となり、事業に必要な費用を下水道使用料で賄える状況とされる100%を上回っている。

一方、施設の利用状況や適正規模を判断する指標である施設利用率は、前年度比0.4ポイント減の66.4%となり、経営戦略における令和10年度の目標値である70%に近い値で推移している。また、償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却費率は前年度比1.8

ポイント増の55.6%となり、施設の老朽化が少しずつ進行している。今後も財政状況等を踏まえながら、計画的な施設の更新を行っていく。

〈経営指標の推移〉

	R1	R2	R3	R4	R5
経常収支比率	116.1%	114.8%	122.9%	116.0%	114.8%
経費回収率	151.6%	127.5%	138.4%	122.6%	124.7%
施設利用率	67.5%	67.1%	69.4%	66.8%	66.4%
有形固定資産減価償却率	47.7%	49.8%	51.9%	53.8%	55.6%

(3) 議会議決事項

ア 議案事項

議案番号	件 名	提出年月日	議決年月日
議案第38号	令和5年度守谷市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	令和5年6月1日	令和5年6月1日
議案第47号	令和5年度守谷市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	令和5年6月1日	令和5年6月16日
議案第57号	令和4年度守谷市公共下水道事業会計決算認定	令和5年8月29日	令和5年9月19日
議案第59号	令和4年度守谷市公共下水道事業会計利益の処分	令和5年8月29日	令和5年9月19日
議案第81号	令和5年度守谷市公共下水道事業会計補正予算(第3号)	令和5年11月28日	令和5年12月13日
議案第 9号	令和5年度守谷市公共下水道事業会計補正予算(第4号)	令和6年3月11日	令和6年3月11日
議案第24号	守谷市公共下水道条例の一部を改正する条例	令和6年3月11日	令和6年3月28日
議案第31号	令和5年度守谷市公共下水道事業会計補正予算(第5号)	令和6年3月11日	令和6年3月28日
議案第38号	令和6年度守谷市公共下水道事業会計予算	令和6年3月11日	令和6年3月28日

イ 報告事項

報告番号	件 名	報告年月日
報告第12号	令和4年度守谷市公共下水道事業会計予算の繰越しについて	令和5年6月1日
報告第17号	令和4年度守谷市公共下水道事業会計継続費精算報告	令和5年8月29日
報告第18号	令和4年度守谷市の公営企業会計資金不足比率の報告について	令和5年8月29日

(4) 行政官庁認可事項（承認事項含む。）

申 請 日	申請先	件 名	許可年月日
令和6年3月1日	茨城県	事業計画変更申請	令和6年3月14日

(5) 職員に関する事項

本年度 11人 事務職 11人（うち会計年度任用職員2人含む）

（所長1人、課長補佐1人、業務グループ3人、経営グループ2人、事業グループ4人）

前年度 10人 事務職 10人

（課長1人、課長補佐1人、業務グループ3人、経営グループ2人、事業グループ3人）

※職員数については、上下水道事務所職員のうち下水道事業支弁職員数を記載

(6) 使用料その他処理条件の設定、変更に関する事項

該当事項なし

2 工事

(1) 建設改良工事の概況

管渠整備

(単位：円)

工事件名及び 請 負 業 者	施工内容	工事費	着 工 年月日	竣 工 年月日	備考
R4市公下第15 号工事 酒石建設工業 (株)	◇布設工事 工事延長 74.38m 塩ビ管 φ 200mm 71.08m 組立式0号マンホール 3基 公共汚水柵 1か所 小口径マンホール 2基 マンホール蓋交換 汚水 1か所 (施工場所：乙子地内)	9,020,000	R4. 12. 24	R5. 5. 31	R4繰越 工 事
R4市公下第16 号工事 (有)オオヤマ建 設工業	◇布設工事 工事延長 117.60m 塩ビ管 φ 200mm 114.75m 組立式0号マンホール 4基 公共汚水柵 1か所 小口径マンホール 2基 (施工場所：松並地内)	9,680,000	R5. 3. 15	R5. 5. 31	R4繰越 工 事
R4市公下第17 号工事 (有)オオヤマ建 設工業	◇布設工事 工事延長 104.70m 塩ビ管 φ 200mm 101.00m 組立式0号マンホール 3基 公共汚水柵 1か所 小口径マンホール 4基 (施工場所：本町地内)	12,199,000	R5. 6. 3	R5. 9. 29	R4繰越 工 事
R4市公下第18 号工事 (有)オオヤマ建 設工業	◇布設工事 工事延長 35.00m 塩ビ管 φ 200mm 34.25m 組立式0号マンホール 2基 公共汚水柵 2か所 (施工場所：本町地内)	4,174,500	R5. 3. 28	R5. 7. 31	R4繰越 工 事

工事件名及び 請 負 業 者	施工内容	工事費	着 工 年月日	竣 工 年月日	備考
R4上水新設第4号・R4汚水人孔設置第1号合併工事 (株)大豊産業	◇布設工事 工事延長 9.00m 塩ビ管撤去 φ250mm 8.90m 1号特殊人孔撤去 1基 組立式0号マンホール 1基 公共汚水桝 1か所 (施工場所：本町地内) ※工事費は下水道事業分を記載	1,059,000	R5.2.4	R5.6.30	R4繰越工事
R4国補公下第3号工事（南守谷9号雨水幹線） (株)日田建設工業	◇布設工事 工事延長 36.42m 排水構造物設置撤去 35.00m 軽量鋼矢板設置撤去 36.42m (施工場所：本町地内)	19,690,000	R5.4.8	R5.12.28	R4繰越工事
R5市公下第1号工事 オオシン(株)	◇布設工事 工事延長 4.41m 塩ビ管 φ200mm 3.75m 組立式0号マンホール 1基 小口径マンホール 1基 (施工場所：本町地内)	1,089,000	R5.7.24	R5.9.29	
R5市公下第2号工事 (有)オオヤマ建設工業	◇布設工事 工事延長 63.56m 塩ビ管 φ200mm 61.70m 組立式0号マンホール 2基 公共汚水桝 1か所 小口径マンホール 3基 (施工場所：高野地内)	10,329,000	R5.10.12	R6.2.29	
R5人孔鉄蓋更新第1号工事 オオシン(株)	マンホール蓋交換 汚水 3か所 (施工場所：野木崎地内) ※材料支給	638,000	R5.5.18	R5.6.30	
R5人孔鉄蓋更新第2号工事 (有)オオヤマ建設工業	マンホール蓋交換 汚水 4か所 (施工場所：野木崎地内ほか) ※材料支給	1,117,600	R5.6.6	R5.6.30	
R5人孔鉄蓋更新第3号工事 (有)オオヤマ建設工業	マンホール蓋交換 汚水 1か所 (施工場所：小山地内) ※材料支給	198,000	R5.9.22	R5.10.6	
R5人孔鉄蓋更新第4号工事 (株)商元	マンホール蓋交換 汚水 1か所 雨水 1か所 舗装復旧 一式 (施工場所：久保ヶ丘地内ほか) ※材料支給	605,000	R5.10.4	R5.12.28	

工事件名及び 請 負 業 者	施工内容	工事費	着 工 年月日	竣 工 年月日	備考
R5人孔鉄蓋更新第5号工事 (有)オオヤマ建設工業	マンホール蓋交換 汚水 1か所 雨水 1か所 (施工場所：けやき台地内) ※材料支給	352,000	R6. 2. 9	R6. 3. 6	
R5人孔鉄蓋更新第6号工事 令和建設(株)	マンホール蓋交換 汚水 1か所 雨水 1か所 (施工場所：けやき台地内) ※材料支給	550,000	R6. 2. 16	R6. 3. 26	
R5污水管渠路面復旧第3号・ R4路面復旧第3号合併工事 (有)オオヤマ建設工業	マンホール蓋交換 汚水 2か所 舗装復旧 一式 (施工場所：立沢地内) ※材料支給	990,000	R5. 8. 29	R5. 9. 29	
R5上水布設替第1号工事 (株)館野設備工業	マンホール蓋交換 汚水 2か所 (施工場所：久保ヶ丘地内) ※材料支給 ※工事費は下水道事業分を記載	165,000	R5. 6. 6	R5. 12. 28	
令和5年度公共 污水柵設置工事その5-36 (有)浅井設備工業	マンホール蓋交換 汚水 1か所 (施工場所：本町地内) ※材料支給 ※工事費は人孔鉄蓋更新工事分を記載	110,000	R5. 8. 9	R5. 11. 1	



下水管渠布設工事

公共污水柵設置

(単位：円)

工事件名及び 請 負 業 者	施工内容	工事費	着 工 年月日	竣 工 年月日	備考
公共污水柵設置工事 増川設備工業 (株)ほか	公共污水柵設置数 84か所 (施工場所：整備区域内)	35,855,129	R5. 2. 9	R6. 3. 31	R4繰越 工事含む

浄化センター改築更新工事

(単位：円)

件 名	業務・工事費	着 工 年 月 日	竣 工 年 月 日	備考
1. R3国補公下第2号工事 (汚泥貯留槽攪拌機改築更新工事) クボタ環境エンジニアリング(株) ※R5現年分の竣工	93,698,000	R4.9.13	R6.3.29	R3～5 継続費

(2) 保存工事の概況

汚水処理施設修繕 (包括管理業務委託)

(受託者 (株)ウォーターエージェンシー・オリエンタルコンサルタンツ・中央設計技術研究所共同企業体)

浄化センター費

定期修繕

(単位：円)

件 名	業務・工事費	着 工 年 月 日	竣 工 年 月 日	備考
1. 汚泥循環ポンプNo.1分解整備	3,718,000	R5.7.7	R5.9.8	
2. 汚泥循環ポンプNo.2分解整備	3,707,000	R5.7.7	R5.9.8	
3. 汚泥循環ポンプNo.4分解整備	3,707,000	R5.7.7	R5.9.8	
4. 水処理上部グレーチング腐食箇所交換	3,344,000	R5.7.14	R5.9.8	
5. 送風機主配管水路貫通部補修整備	9,196,000	R5.10.3	R6.3.6	
6. し渣破砕機分解整備(沈砂池設備)	30,921,000	R6.2.2	R6.3.28	
7. し渣分離機分解整備(沈砂池設備)	16,467,000	R6.2.20	R6.3.28	
8. し渣移送機分解整備(沈砂池設備)	31,856,000	R6.2.20	R6.3.28	

突発修繕

(単位：円)

件 名	業務・工事費	着 工 年 月 日	竣 工 年 月 日	備考
1. R5突発修繕下水第2号工事 (加圧水ポンプ吐出電動弁No.2修繕)	1,826,000	R5.6.20	R5.12.20	
2. R5突発修繕下水第5号工事 (No.4ケーキコンベア修繕)	7,414,000	R5.12.6	R6.3.28	
3. R5突発修繕下水第9号工事 (No.2自動除塵機レーキ撤去)	880,000	R6.2.27	R6.3.28	

ポンプ場費

定期修繕

(単位：円)

件 名	業務・工事費	着 工 年月日	竣 工 年月日	備考
1. 汚水ポンプNo. 1分解整備（宮下）	1,485,000	R5. 8. 21	R5. 10. 4	
2. 汚水ポンプNo. 1・No. 2分解整備（相野谷）	3,410,000	R5. 8. 21	R5. 10. 4	



汚水ポンプ分解整備

突発修繕

(単位：円)

件 名	業務・工事費	着 工 年月日	竣 工 年月日	備考
1. R5突発修繕下水第1号工事 （みずき野中継ポンプ場自家用発電機修繕）	1,650,000	R5. 6. 20	R5. 9. 22	
2. R5突発修繕下水第3号工事 （奥山新田No. 2マンホールポンプ場通報装置 修繕）	605,000	R5. 9. 14	R6. 1. 26	
3. R5突発修繕下水第4号工事 （各マンホールポンプ場通報装置修繕）	1,089,000	R5. 10. 19	R6. 1. 26	
4. R5突発修繕下水第6号工事 （各マンホールポンプ場水位計修繕）	2,365,000	R5. 12. 21	R6. 3. 13	
5. R5突発修繕下水第7号工事 （辺田前マンホールポンプ場汚水ポンプNo. 1 ・2修繕）	3,949,000	R6. 1. 31	R6. 3. 15	
6. R5突発修繕下水第8号工事 （本田マンホールポンプ場汚水ポンプNo. 1・ 2修繕）	1,342,000	R6. 2. 7	R6. 3. 15	
7. R5突発修繕下水第10号工事 （美園中継ポンプ場仮設ケーブル敷設・切替 工事）	1,430,000	R6. 3. 15	R6. 3. 28	

管渠修繕

(単位：円)

工事件名及び 請負業者	施工内容	工事費	着工 年月日	竣工 年月日	備考
R5人孔天端調整第1号工事 (株)日田建設工業	鉄蓋天端調整 2か所 (施工場所：百合ヶ丘地内)	572,000	R5. 10. 18	R5. 12. 1	
R5人孔天端調整第2号工事 (有)オオヤマ建設工業	試掘工 H=1.20m 小口径鉄蓋天端調整 1か所 (施工場所：本町地内ほか)	297,000	R5. 12. 6	R5. 12. 11	
R5污水管渠緊急修繕第1号工事 (有)浅井設備工業	污水管渠修繕 1か所 (施工場所：美園地内)	1,100,000	R6. 1. 9	R6. 3. 29	
R5污水管渠緊急修繕第2号工事 (有)オオヤマ建設工業	污水管渠修繕 1か所 (施工場所：野木崎地内)	1,278,000	R6. 2. 16	R6. 3. 29	
R5給水単独工事その1 (有)大和田鉄工	公共污水桝修繕 1か所 (施工場所：大柏地内) ※工事費は下水道事業分を記載	110,000	R5. 4. 14	R5. 7. 10	

3 業務

(1) 業務量

事 項	令和5年度	令和4年度	比較	
			増 減	増 減 率
行政区域内人口	70,627 人	70,404 人	223 人	0.3 %
行政区域内戸数	30,280 戸	29,895 戸	385 戸	1.3 %
行政区域面積	3,571 h a	3,571 h a	0 h a	—
処理区域内人口	70,083 人	69,841 人	242 人	0.3 %
水洗便所設置済人口	69,597 人	69,331 人	266 人	0.4 %
水洗便所設置済戸数	29,911 戸	29,514 戸	397 戸	1.3 %
処理区域面積	2,020.0 h a	2,020.0 h a	0.0 h a	—
普及率（人口）	99.23 %	99.20 %	0.03 %	—
水洗化率（人口）	99.31 %	99.27 %	0.04 %	—
総面積普及率	56.57 %	56.57 %	0.00 %	—
年間汚水処理水量	11,931,990 m ³	11,912,420 m ³	19,570 m ³	0.2 %
年間総有収水量	10,318,931 m ³	10,284,870 m ³	34,061 m ³	0.3 %

事 項	令和5年度	令和4年度	比較	
			増 減	増 減 率
一日平均汚水処理 水量（晴天時）	31,868 m ³	32,073 m ³	△ 205 m ³	△ 0.6 %
一日最大汚水処理 水量（晴天時）	54,730 m ³	40,620 m ³	14,110 m ³	34.7 %
一日平均有収水量	28,194 m ³	28,178 m ³	16 m ³	0.1 %
有 収 率	86.48 %	86.34 %	0.14 %	－

(2) 事業収入に関する事項（税抜き）

（単位：円、％）

区分	令和5年度		令和4年度		比 較	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
営業収益	1,330,983,793	60.4	1,333,266,178	59.0	△ 2,282,385	△ 0.2
営業外収益	870,412,178	39.5	924,615,872	40.9	△ 54,203,694	△ 5.9
特別利益	1,000,467	0.1	3,257,783	0.1	△ 2,257,316	△ 69.3
計	2,202,396,438	100.0	2,261,139,833	100.0	△ 58,743,395	△ 2.6

(3) 事業費に関する事項（税抜き）

（単位：円、％）

区分	令和5年度		令和4年度		比 較	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
営業費用	1,876,564,966	97.8	1,894,183,436	97.3	△ 17,618,470	△ 0.9
営業外費用	40,818,869	2.1	52,742,259	2.7	△ 11,923,390	△ 22.6
特別損失	484,565	0.0	623,780	0.0	△ 139,215	△ 22.3
計	1,917,868,400	100.0	1,947,549,475	100.0	△ 29,681,075	△ 1.5

4 会計

(1) 重要契約の要旨

管渠費

（単位：円）

契約年月日	契約金額	件 名	契約の相手方	備 考
R5. 4. 7	2,970,000	R5樋管・水路草刈業務	(有)守谷造園	
R5. 10. 31	6,523,000	R5守谷市上下水道施設情報管理システムデータ更新業務 ※契約総額のうち下水道分を記載	フジ地中情報(株) 東京支店	
R6. 1. 9	1,100,000	R5汚水管渠緊急修繕第1号工事	(有)浅井設備工業	
R6. 2. 15	1,278,000	R5汚水管渠緊急修繕第2号工事	(有)オオヤマ建設 工業	

浄化センター費

(単位：円)

契約年月日	契約金額	件 名	契約の相手方	備 考
R6. 3. 14	5, 445, 000	R6下水道水質検査業務	平成理研(株)	R5債務 負担行為
R6. 3. 7	7, 300	産業廃棄物収集・運搬及び処分委託 (収集・運搬) 1トン当たり単価契約：汚泥 ※搬出先：(株)エコ計画	(株)エコ計画	R5債務 負担行為
R6. 3. 7	22, 200	産業廃棄物収集・運搬委託 1トン当たり単価契約：沈砂 ※搬出先：日立セメント(株)	(株)シイナクリーン	R5債務 負担行為
R6. 3. 7	3, 000	産業廃棄物収集・運搬委託 1トン当たり単価契約：汚泥 ※搬出先：日立セメント(株)	水海道産業(株)	R5債務 負担行為
R6. 3. 7	5, 000	産業廃棄物収集・運搬委託 1トン当たり単価契約：沈砂 ※搬出先：日立セメント(株)	水海道産業(株)	R5債務 負担行為
R6. 3. 7	6, 500	産業廃棄物収集・運搬委託 1トン当たり単価契約：汚泥 ※搬出先：UBEセメント(株)	(株)新栄	R5債務 負担行為
R6. 3. 7	6, 800	産業廃棄物収集・運搬委託 1トン当たり単価契約：汚泥 ※搬出先：(株)ピラミッド	(株)エヌジェーピー	R5債務 負担行為
R6. 3. 7	20, 000	産業廃棄物収集・運搬及び処分委託 (処分) 1トン当たり単価契約：脱水ケーキ	(株)エコ計画	R5債務 負担行為
R6. 3. 7	14, 500	産業廃棄物処分委託 (脱水ケーキ) 1トン当たり単価契約	UBE三菱セメント(株)横瀬工場	R5債務 負担行為
R6. 3. 7	15, 500	産業廃棄物処分委託 (脱水ケーキ) 1トン当たり単価契約	(株)ピラミッド 栃木工場	R5債務 負担行為
R6. 3. 7	18, 000	産業廃棄物処分委託 (脱水ケーキ) 1トン当たり単価契約	日立セメント(株) 神立資源リサイクルセンター	R5債務 負担行為
R6. 3. 7	58, 000	産業廃棄物処分委託 (沈砂) 1トン当たり単価契約	日立セメント(株) 神立資源リサイクルセンター	R5債務 負担行為

総係費

(単位：円)

契約年月日	契約金額	件 名	契約の相手方	備 考
R5. 5. 25	6, 204, 000	R5守谷市下水道事業計画等変更業務	日本工営(株) 茨城事務所	
R5. 6. 26	38, 885, 000	R5国補公下第4号業務 (守谷市雨水 管理総合計画策定業務ほか)	日本工営(株) 茨城事務所	R6年度 へ繰越
R5. 6. 26	19, 690, 000	R5国補公下第5号業務 (守谷浄化セ ンター水処理施設耐震診断【非線 形】業務)	(株)日水コン 茨城事務所	

契約年月日	契約金額	件 名	契約の相手方	備 考
R5. 8. 25	52, 580, 000	R5国補公下第7号業務（守谷浄化センター水処理施設耐震診断【非線形】業務）	(株)日本水道設計社 茨城営業所	R6年度 へ繰越
R5. 9. 27	9, 328, 000	R5国補公下第8号業務 （下水道耐水化計画改定業務）	(株)オリエンタル コンサツタンツ 茨城事務所	R6年度 へ繰越

下水道建設費

(単位：円)

契約年月日	契約金額	件 名	契約の相手方	備 考
R6. 1. 15	41, 789, 000	R5国補公下第9号業務 （管路施設耐震診断業務）	(株)オリエンタル コンサツタンツ 茨城事務所	R6年度 へ繰越
R5. 12. 19	3, 300, 000	R5下水道管路施設実施設計業務	(株)中央設計技術 研究所 守谷事 務所	R6年度 へ繰越
R5. 4. 7	19, 690, 000	R4国補公下第3号工事 （南守谷9号雨水幹線）	(株)日田建設工業	
R5. 6. 2	12, 199, 000	R4市公下第17号工事	(有)オオヤマ建設 工業	
R5. 7. 24	1, 089, 000	R5市公下第1号工事	オオシン(株)	
R5. 10. 11	10, 329, 000	R5市公下第2号工事	(有)オオヤマ建設 工業	
R6. 2. 6	9, 350, 000	R5市公下第3号工事	(有)オオヤマ建設 工業	R6年度 へ繰越
R6. 2. 26	7, 480, 000	R5市公下第4号工事	(有)オオヤマ建設 工業	R6年度 へ繰越
R5. 6. 5	1, 117, 600	R5人孔鉄蓋更新第2号工事	(有)オオヤマ建設 工業	
R5. 12. 15	95, 920, 000	R5国補公下第1号工事	(株)日田建設工業	R6年度 へ繰越
R6. 2. 26	18, 557, 000	R5国補公下第2号工事	(有)須賀緑化土木	R6年度 へ繰越

(2) 企業債及び一時借入金の概況

ア 企業債

(単位：円)

区 分		R4年度末 残 高	R5年度 増加高	R5年度 償還高	R5年度末 残 高	R5年度 支払利息
下水道事業債		1, 844, 041, 270	0	248, 398, 028	1, 595, 643, 242	43, 540, 347
内 訳	政府債	995, 959, 088	0	128, 574, 471	867, 384, 617	24, 592, 061
	機構債	589, 083, 105	0	86, 578, 921	502, 504, 184	13, 412, 899
	簡保債	258, 999, 077	0	33, 244, 636	225, 754, 441	5, 535, 387

借入利率別残高

(単位：円)

区 分		2.0%以下	3.0%以下	4.0%以下	5.0%以下	計
下水道事業債		279,506,516	1,255,624,578	59,467,652	1,044,496	1,595,643,242
内 訳	政府債	87,931,845	718,940,624	59,467,652	1,044,496	867,384,617
	機構債	124,408,884	378,095,300	0	0	502,504,184
	簡保債	67,165,787	158,588,654	0	0	225,754,441

イ 一時借入金

なし

(3) 引当金の増減

(単位：円)

区 分	R4年度末 残 高	R5年度 増加額	R5年度 減少額	R5年度末 残 高
貸倒引当金	8,376,897	1,270,000	591,649	9,055,248
修繕引当金	7,123,650	0	2,170,000	4,953,650
賞与引当金	6,736,000	6,226,000	6,736,000	6,226,000

※減少額には戻入れ額を含む

5 附帯事項

消化ガス売却量 72万9,960N m³ (日平均 1,994N m³)



消化ガス発電施設

6 その他

(1) 収納状況

(単位：千円、%)

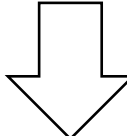
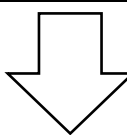
区 分		過年度分	収納率	現年度分	収納率	計	収納率
令和5年度	調定額(繰越額含む)	18,605		1,441,586		1,460,191	
	収納額	14,015	75.3	1,423,012	98.7	1,437,027	98.4
	未納額 (不納欠損処分前)	4,590		18,574		23,164	
	不納欠損処分量	592		0		592	
	繰越未納額	3,998		18,574		22,572	
区 分		過年度分	収納率	現年度分	収納率	計	収納率
令和4年度	調定額(繰越額含む)	21,455		1,433,298		1,454,753	
	収納額	15,809	73.7	1,419,321	99.0	1,435,130	98.7
	未納額 (不納欠損処分前)	5,646		13,977		19,623	
	不納欠損処分量	1,018		0		1,018	
	繰越未納額	4,628		13,977		18,605	
区 分		過年度分	増減率	現年度分	増減率	計	増減率
比較増減	調定額(繰越額含む)	△ 2,850	△ 13.3	8,288	0.6	5,438	0.4
	収納額	△ 1,794	△ 11.3	3,691	0.3	1,897	0.1
	未納額 (不納欠損処分前)	△ 1,056	△ 18.7	4,597	32.9	3,541	18.0
	不納欠損処分量	△ 426	△ 41.8	0	—	△ 426	△ 41.8
	繰越未納額	△ 630	△ 13.6	4,597	32.9	3,967	21.3

※収納額には未送金分を含む

※不納欠損処分量について、守谷市債権管理条例施行規則第6条に定める事項は次のとおり

- (1) 放棄した債権の名称 : 下水道使用料
- (2) 放棄した債権の調定年度 : 平成29年度(平成30年1-2月分)及び
平成30年度(平成30年3-4月分から平成30年11-12月分まで)
- (3) 放棄した債権の額 : 591,649円
- (4) 放棄した事由 : 消滅時効成立のため

(2) キャッシュ・フロー状況（概略表）

令和4年度末残高	55.0 億円	←	令和4年度末現金預金残高は55億円で、これは令和5年度に繰り越しています。
 キャッシュ・フロー			
区 分	差 引 現金預金	←	
業務活動	5.4 億円	←	安定した下水道使用料収入と企業会計制度による適正な費用配分により、5億4,000万円の資金を確保しました。
投資活動	△ 14.5 億円	←	一般会計への貸付金の支出等により、14億5,000万円の資金が減少しました。
財務活動	△ 2.5 億円	←	企業債の償還により、2億5,000万円の資金が減少しました。
計	△ 11.6 億円	←	結果として、令和5年度中の現金預金は、11億6,000万円が減少しました。
			
令和5年度末残高	43.4 億円	←	令和4年度から繰り越された55億円に令和5年度で減少した11億6,000万円を減じ、43億4,000万円の残高となりました。これを、令和6年度へ繰り越します。

守谷市公共下水道事業のキャッシュ・フロー分析

公共下水道事業において、業務活動で得た5億4,000万円と内部留保資金を投資活動と財務活動に充て、トータルで11億6,000万円の減少となりました。
 全体的に見て、事業継続のための施設の更新工事も行われる中で、公共下水道事業の経営に必要な資金は確保されており、資金の流れも適正となっていることから、比較的安定した経営状況にあるといえます。引き続き、施設の更新費用や財務活動（企業債償還）への資金の確保が必要です。

(3) 収益的収入（一般会計負担金等）の使途

- ア 雨水処理負担金（支払利息への充当額を除く負担金）867万4,366円は、保険料（非課税仕入れ）に9万3,820円（不課税収入）、材料費（課税仕入れ）に19万4,700円（特定収入）、材料費（不課税支出）に23万5,100円（不課税収入）、委託料及び修繕費等（課税仕入れ）に815万746円（特定収入）それぞれ充当した。
- イ 他会計負担金（支払利息への充当額を除く負担金）214万40円は、委託料（課税仕入れ）に全額（特定収入）充当した。
- ウ 他会計補助金（児童手当給付補助金）74万2,000円は、児童手当（不課税支出）に全額（不課税収入）充当した。

(4) 資本的収入（一般会計負担金等）の使途

- ア 他会計負担金（雨水管渠整備事業負担金）1,430万1,900円は、工事請負費及び委託料（課税仕入）に1,283万9,000円（特定収入）、資材費（不課税支出）に146万2,900円（不課税収入）それぞれ充当した。
- イ 他会計補助金（児童手当給付補助金）24万円は、児童手当（不課税支出）に全額（不課税収入）充当した。
- ウ 受益者負担金2,641万3,840円は、企業債償還金（課税仕入れ対応分に係る元金償還金）に全額（特定収入）充当した。
- エ 工事負担金31万9,000円は、工事請負費（課税仕入）に全額（特定収入）充当した。

(5) 守谷市指定排水設備工事事業者の指定

令和5年度中に指定した排水設備の工事事業者は1事業者で、廃止又は未更新の工事事業者は3事業者であり、年度末の指定排水設備工事事業者数は144事業者となった。

(6) 守谷市上下水道事業審議会の開催

開催日	内 容
令和5年7月24日 (第1回)	報告事項 (1) 令和4年度事業実績について (2) 令和5年度事業計画について
令和5年12月12日 (第2回)	報告事項 (1) 守谷市上下水道事業経営戦略の改定について
令和6年2月16日 (第3回)	諮問事項 (1) 守谷市上下水道事業経営戦略の改定について（諮問）

(7) その他会計経理に関する重要事項

ア たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・先入先出法に基づく原価法

イ 固定資産の減価償却方法

有形固定資産

- ・定額法（ただし、取替資産については、取替法による。）

- ・主な耐用年数

建物	31年～50年
構築物	10年～50年
機械及び装置	6年～20年
車両運搬具	4年～ 5年
工具器具及び備品	4年～ 5年

ウ 引当金の計上の方法

(ア) 賞与引当金

職員の期末手当、勤勉手当及び法定福利費の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(イ) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率により回収不能見込額を計上している。

エ 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式で行っている。なお、控除対象外消費税等については、当事業年度の費用として処理している。